

2. 「市川市における京成本線の連続立体化と沿線街づくりに関する提言」の検証（解析）

提言書の区間について、「線路・建造物実施基準 H14.3 京成電鉄」に基づき構造的な検討を行い、「連続立体交差事業の費用便益分析マニュアル（案）H11.3 国土交通省」に従い、解析を行った結果以下の通りとなった。

- ・連続立体交差事業の事業区間は京成八幡駅を中心とした約1,310mの区間となる。
- ・掘割区間が600m、地下区間が710mとなる。
- ・除去される踏切は菅野第3号踏切から京成八幡第4号踏切までの7箇所である。
- ・掘割区間により3箇所の踏切が通行不能となる。
- ・事業費は504億円となる。
- ・費用対効果（B/C）としては0.58である。

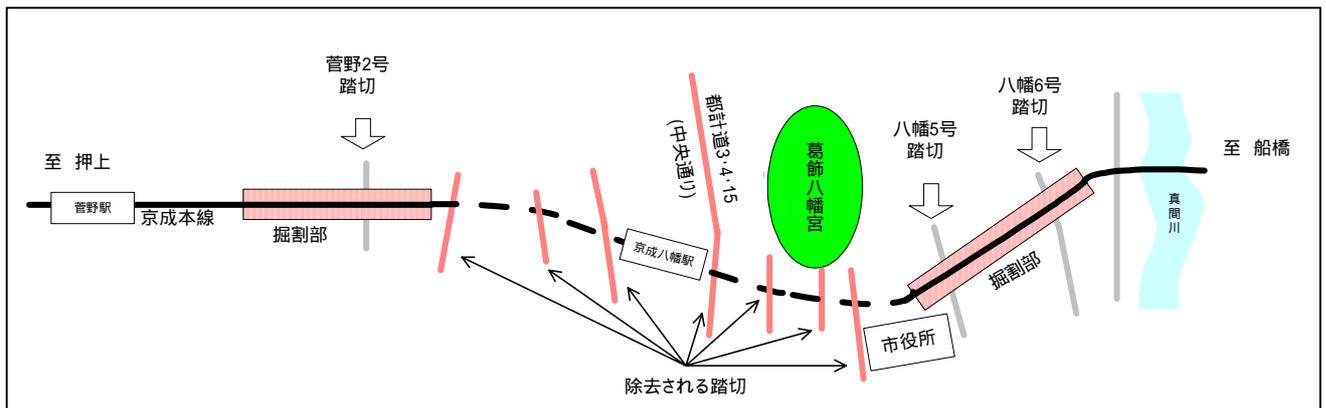


図 10 平面図

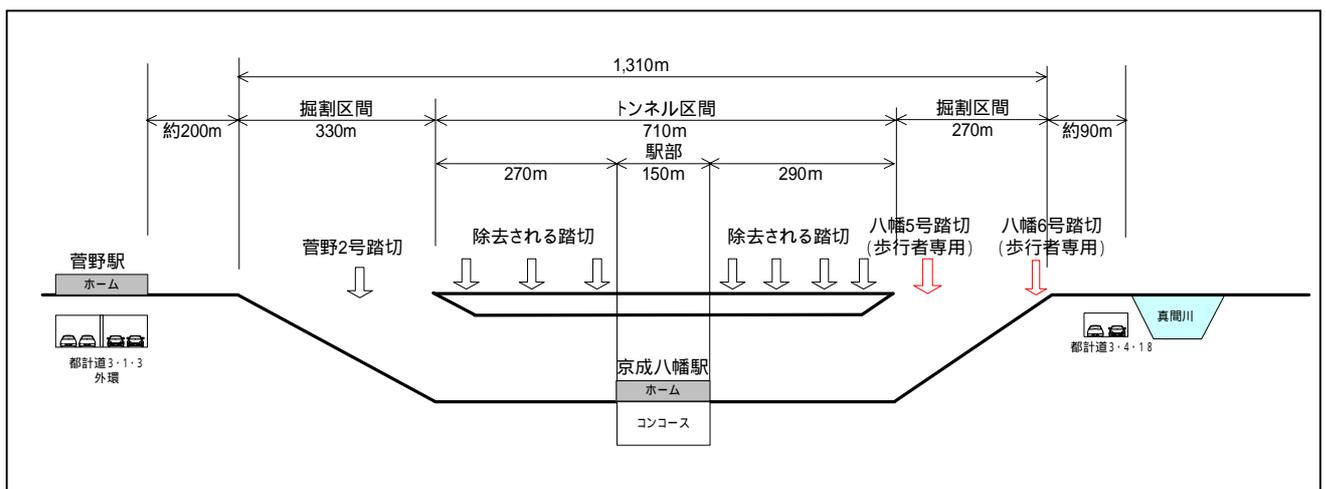


図 11 縦断面図